



合言葉は「もったいない」 12月は地球温暖化防止月間

賢く優しい 冬のエコな暮らし



▲もったいない係長 ミヤリー

冬は暖房や年末年始の宴会での食べ残しなど、実は環境に大きな負荷をかけてしまう季節。普段の生活を見直して、地球にも家計にも優しい取り組みを始めてみませんか。

あなたの
エコ度はどれくらい？

冬の エコな暮らし 3分チェック

- 長時間使用しない電化製品は、コンセントを抜くか主電源を切っている。
- 日中は外の光を取り込み、夜は使わない照明を消すなど、不要な照明は使用していない。
- 冷蔵庫の中をきれいにし、設定を「弱」にしている。
- 公共交通機関や自転車、徒歩による移動を心掛けている。
- ごみの分別をして、資源物のリサイクルに努めている。
- 生ごみは水分を切り、減量してからごみに出している。
- 賞味・消費期限切れで捨ててしまう生ごみを減らすように計画的に購入している。
- シャンプーや洗剤などは、詰め替えのできる商品を選んでいる。
- 暖房を使用している部屋に集まり、ウォームシェアをしている。
- エアコンのフィルター掃除を小まめに行っている。

チェックの数を
数えてみましょう。

■8~10個 エコの匠
😊 素晴らしいです。エコのプロ。ぜひ周りの人にも運動を勧めてください。

■5~7個 エコ上級者
😊 かなりエコの意識が高く、地球にも家計にも優しい取り組みができています。

■2~4個 エコ中級者
😐 ある程度、取り組んでいます。さらにもう一歩がんばってみましょう。

■0~1個 エコ見習い
😞 冬のエコには、あまり取り組めていないようです。まずはできることから始めてみましょう。

カーディガンを1枚羽織るだけで室温を2.2度上げるのと同じ効果が得られます。ぜひ、それぞれのエコな暮らしに取り組んでみてくださいね。



環境政策課 主事 田中 彩友美

宇都宮でも
平均気温が上昇している

本市では、この100年間で平均気温が2.1度上昇しています。

平均気温が1度上昇すると、洪水や暴風雨による被害が増加し、3・4度上昇すると、地球上の生物種の40パーセントが絶滅するといわれています。

私たち一人ひとりが、こうした問題を意識して行動し、歯止めをかけなくてはなりません。

冬こそ考えよう 地球温暖化対策

冬は暖房機器の使用頻度が高まるなど、多くのエネルギーが使用される時期です。冬こそ、「もったいない」の心で、日常生活内で使うエネルギーを減らすことが大切です。

家庭での省エネで、電気代などの光熱費も抑えられ、お財布にも優しい「賢い暮らし」を実践してみましょう。

買い替え時には エコな製品の検討を

最近ではエコカー、エコ

◎太陽光発電と蓄電池などの補助金を受付中 本市では、地球温暖化防止の取り組みとして、「家庭向け低炭素化普及補助金」を実施しています。詳しい対象機器や条件などについて、詳しくは、市ホームページをご覧ください。環境政策課 ☎(632)2418へお問い合わせください。

今ウワサの「もったいない残しま10」運動とは!?

まだ食べられるのに捨てられてしまう食品を減らすため、次の行動を始めてみませんか。

1 食材は10割使い切る、料理は10割食べ切る



2 毎月10日を「残しま10の日」に設定 10日は冷蔵庫をチェックして、食材管理をしよう。



3 宴会で「残しま宣言」 開始10分・終了10分は、料理に専念して残さず食べよう。



宴会で「残しま宣言」

年末年始は、宴会が多い時期。楽しい会話に夢中になり、料理が残ってしまうことがあります。「もったいない残しま10」運動に取り組み、焼却ごみも減り、地球温暖化防止にもつながります。

宴会の幹事さんは、こんなふうに食べ切りの呼び掛けをしてね



アナウンス例

■宴会開始時 皆さん、おいしい料理を食べ切らないのは「もったいない」ので、乾杯の後の10分間とお開き前の10分間は、料理を残さず食べて、宴会を楽しみましょう。

■宴会終了10分前 皆さん、間もなくお開きの時間ですが、テーブルの上に食べ物は残っていませんか。まだ食べられるのに捨てられてしまう料理は「もったいない」ので、残さないようにお願いします。

「協力店」が続々と登場中

食品ロスの削減に協力している「もったいない残しま10運動」協力店が続々と登場中です。忘年会・新年会にぜひご利用ください。

協力店について、詳しくは、市ホームページからご覧ください(下記QRコード参照)。また協力店加盟店を募集中です。詳しくは、欄外をご覧ください。



街に出てこの旗を見つけてね



▲QRコード

EV(電気自動車)に乗ってみませんか

EVの魅力体験講座 (環境出前講座)

一歩先を行く、新時代のテクノロジーにぜひ触れてみてください。

環境政策課 主事 山本 裕介



▽内容 次のいずれかからお選びください。①EV試乗体験②EVによる電源供給の実演③EVの展示。(EVの実物やパネル展示を通じた構造の説明)。

▽対象 小学生高学年～高校生。

▽申込 電話で、環境政策課 ☎(632)2418へ。



▼実際に賞味・消費期限切れなどにより未開封で廃棄された食料品



家庭や職場、地域などで実践したい「もったいない」の輪を広げましょう。

本市では、まだ食べられるのに廃棄される食品を減らすため、「もったいない残しま10」運動(上の図)に取り組んでいます。

市の家庭から出る生ごみの約7割が、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品です。

食べものを捨てちゃうなんて「もったいない」

賞味・消費期限切れなどにより、未開封で廃棄されてしまう食品、いわゆる「もったいない生ごみ」が増えています。

家電などの地球に優しい製品が増えてきています。買い替え時には、ランニングコストや省エネ機能などにも注目して、環境に優しい製品を選ぶことも温暖化防止につながります。

食べ切り・使い切りで温暖化をストップ

※「もったいない残しま10運動」協力店を募集します 運動の趣旨に賛同し、食品ロスの削減に協力する店舗を「もったいない残しま10運動」協力店に登録する取り組みを9月から開始しました。協力いただける飲食店や宿泊施設、小売店などの事業者を募集していますので、ごみ減量課 ☎(632)2414へお問い合わせください。

◎この特集についての問い合わせは、環境政策課 ☎(632)2404へ。